

お金のデザイン・エッセンシャル・ プロダクツ・ファンド

いしづえ

愛称：明日への礎

運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2023年9月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・ファンド」は、2023年9月11日に第1期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2022年9月28日設定）	
運用方針	「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・ファンド」は、マザーファンド受益証券への投資を行います。以下はマザーファンドである「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド」の運用方針です。 ①人が生きるために必要不可欠と考えられる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに上場投資信託証券（ETF）を通じて投資を行うことにより、長期的にリターンを獲得を目指します。 ②投資信託証券（ETF）等への投資は原則として高位を維持します。但し、市況動向等により弾力的に変更を行う場合があります。 ③組入外貨建資産については原則為替ヘッジは行いませんが、金利・為替状況によってはヘッジを実施する可能性があります。 ④資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている上場投資信託証券（ETF）等を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年9月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

（受付時間：委託会社の営業日の9：30～17：00）

ホームページ：<https://www.money-design.com/>

 お金のデザイン

東京都千代田区紀尾井町1番3号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 額 (分配落)	価 額			投 資 信 託 純 資 産 額 組 入 比 率 総 額	
		税 分 込 配 金	期 騰 落	中 率		
(設定日) 2022年9月28日	円 10,000	円 -		% -	% -	百万円 8,210
1期(2023年9月11日)	10,300	120		4.2	96.4	17,009

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 額	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額 組 入 比 率 総 額
		騰 落	率	
(設定日) 2022年9月28日	円 10,000		% -	% -
9月末	9,948		△0.5	90.5
10月末	10,884		8.8	96.8
11月末	10,559		5.6	97.8
12月末	9,727		△2.7	97.6
2023年1月末	10,112		1.1	98.3
2月末	10,262		2.6	98.5
3月末	9,857		△1.4	99.0
4月末	9,714		△2.9	99.1
5月末	9,809		△1.9	99.2
6月末	10,566		5.7	99.1
7月末	10,705		7.1	99.4
8月末	10,631		6.3	99.4
(期 末) 2023年9月11日	10,420		4.2	96.4

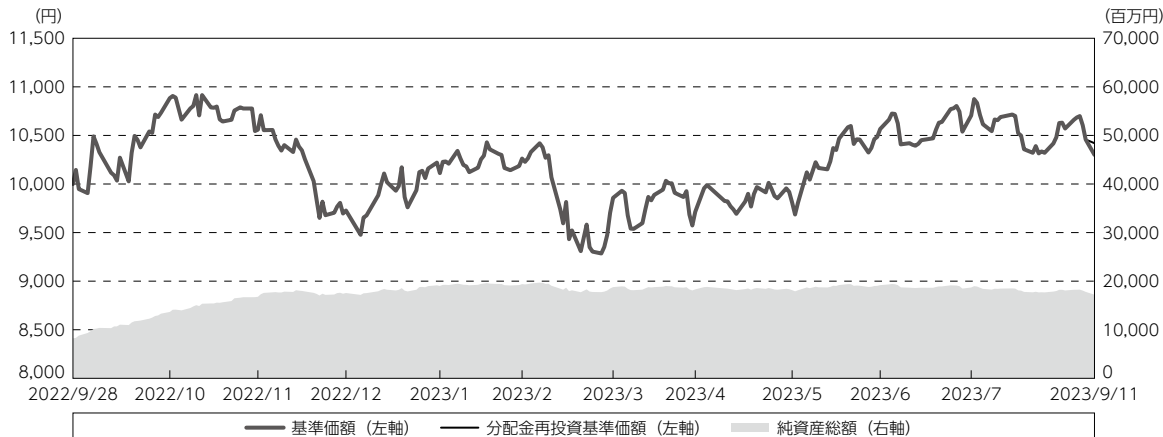
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2022年9月28日～2023年9月11日)

期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期末：10,300円(既払分配金(税込み)：120円)

騰落率： 4.2%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、3.0%上昇しました。

当ファンドは、「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

2022年9月28日のファンド設定以来、「食料」、「水」、「エネルギー(資源エネルギー、新エネルギー)」関連のETFに投資を行いました。このうち水関連のETFが大きく上昇し、ファンドの基準価額の上昇に比較的大きくプラス寄与しました。「食料」と「資源エネルギー」もプラス寄与しましたが、「新エネルギー」はマイナス寄与となりました。

また、当期は日本と米国の金利差が拡大したことなどから、米ドルが期初と比べて対円で1.5%程度上昇しました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動がファンドの基準価額にプラスの影響をもたらし、パフォーマンスにもプラス寄与しています。

投資環境

世界の株式市場は、先進国を中心に全体として上昇しましたが、地域や業種によって異なる展開となりました。

米国では当期中に6回の利上げが決定され、金利が上昇する中でインフレ指標やFRB（米連邦準備制度理事会）高官の発言などに反応しやすい相場展開となりましたが、通期で米国株式は上昇しました。債務上限問題や一部地方銀行の経営破綻などから下落する場面もありましたが、6月から7月にかけてインフレ圧力が和らぐ一方で経済指標と企業決算が好調だったことから景気のソフトランディング期待が高まり株価が上昇しました。

欧州株式も主要中央銀行の金融政策をにらみながらの神経質な展開となりましたが、通期で前期末比プラスとなりました。1月から2月にかけては暖冬により、ロシアへの経済制裁の影響によるエネルギー不安が後退したことを受けて株式は上昇しました。

日本株式は、当分のあいだ利上げの可能性が低いことや、東京証券取引所がPBR 1倍割れの企業に株価上昇のための対策を要請したことなどを背景に海外からの資金が流入したことに加え、期の後半には円安による輸出企業の業績改善やインバウンド需要の回復による関連企業の売り上げ拡大への期待などから上昇しました。

新興国株式は国によってかなり異なる結果となりました。台湾やインド株式は上昇しましたが、中国・香港の株式は米中対立や不動産市場の低迷などを受けて国内景気への先行き不透明感が広がり、軟調な推移となりました。

このような市場環境のなか、当ファンドが保有するETFもテーマ毎にまちまちな動きとなりました。水関連株式では、配管設備などを手掛ける企業、水処理技術を持つ企業、水道事業を行う企業などが特に期の後半に大きく上昇しました。食料関連株式は、肥料や除草剤などの企業の株価が下落した一方で農業機器や食品加工関連企業などが堅調に推移するなど業種によって異なる動きとなり、全体としては通期で小幅に上昇しました。資源エネルギー関連株式ではリチウムやレアアース関連が下落しましたが、ウラン関連が上昇したほか、サウジアラビアなどの産油国の減産により原油価格が上昇したことなどから石油、ガス関連企業も上昇しました。新エネルギー関連株式は、太陽光パネルや太陽光発電設備関連の企業が大きく下落したことなどから全体的に軟調でした。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド」受益証券への投資を通じ、主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することで、実質的に世界の株式等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、生きるために必要不可欠と思われる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに分散投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指すことです。これに向けて、各テーマに即したETFを選別し、ポートフォリオ全体に対するテーマ毎の価格変動リスクの寄与が概ね均等になるように配分比率を決定する運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。また、収益分配に充てなかつた利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期
	2022年9月28日～ 2023年9月11日
当期分配金	120
(対基準価額比率)	1.152%
当期の収益	120
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	299

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド」受益証券への投資を通じ、水、食料、エネルギーに関連する企業を中心に構成された世界の上場投資信託証券(ETF)に投資を行うことにより、効率的な運用を行うことを目指します。ETFの選定には独自の評価基準を用い、取引コストや流動性なども考慮しながら組入比率を調整して参ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年9月28日～2023年9月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	161	1.578	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(80)	(0.778)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(80)	(0.778)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.021)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.079	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(8)	(0.079)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	4	0.038	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0.018)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	173	1.695	
期中の平均基準価額は、10,231円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

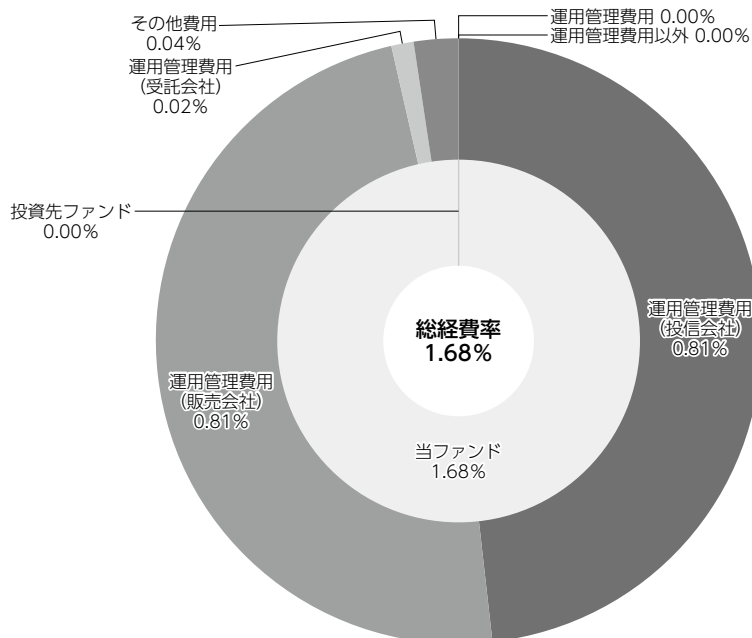
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.68%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	1.68
①当ファンドの費用の比率	1.68
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月28日～2023年9月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド		19,249,082	19,728,814	3,499,562	3,677,439

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月28日～2023年9月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年9月28日～2023年9月11日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年9月11日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド		15,749,520	16,662,992

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2023年9月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド	16,662,992	93.0
コール・ローン等、その他	1,260,999	7.0
投資信託財産総額	17,923,991	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（16,415,379千円）の投資信託財産総額（17,148,934千円）に対する比率は95.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=146.97円、1ユーロ=157.48円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年9月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	17,923,991,188
コール・ローン等	775,000,000
お金のデザイン・エッセンシャル・ プロダクツ・マザーファンド(評価額)	16,662,992,412
未収入金	485,998,776
(B) 負債	914,182,072
未払収益分配金	198,180,973
未払解約金	573,966,059
未払信託報酬	140,790,404
その他未払費用	1,244,636
(C) 純資産総額(A - B)	17,009,809,116
元本	16,515,081,145
次期繰越損益金	494,727,971
(D) 受益権総口数	16,515,081,145口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,300円

(注) 当ファンドの設定時元本額は8,210,280,835円、期中追加設定元本額は11,380,036,864円、期中一部解約元本額は3,075,236,554円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.0300円です。

○損益の状況 (2022年9月28日～2023年9月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	583,166,238
売買益	687,642,341
売買損	△104,476,103
(B) 信託報酬等	△278,619,626
(C) 当期損益金(A + B)	304,546,612
(D) 追加信託差損益金	388,362,332
(売買損益相当額)	(388,362,332)
(E) 計(C + D)	692,908,944
(F) 収益分配金	△198,180,973
次期繰越損益金(E + F)	494,727,971
追加信託差損益金	388,362,332
(配当等相当額)	(12,803,690)
(売買損益相当額)	(375,558,642)
分配準備積立金	106,365,639

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(90,788,052円)、費用控除後の有価証券等損益額(213,758,560円)、および信託約款に規定する収益調整金(388,362,332円)より分配対象収益は692,908,944円(1万口当たり419円)であり、うち198,180,973円(1万口当たり120円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	120円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はございません。

お金のデザイン・ エッセンシャル・プロダクツ・ マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日 2023年9月11日）
（2022年9月28日～2023年9月11日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2022年9月28日設定）
運用方針	<p>①人が生きるために必要不可欠と考えられる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに上場投資信託証券（ETF）を通じて投資を行うことにより、長期的にリターンの獲得を目指します。</p> <p>②投資信託証券（ETF）等への投資は原則として高位を維持します。但し、市況動向等により弾力的に変更を行う場合があります。</p> <p>③組入外貨建資産については原則為替ヘッジは行いませんが、金利・為替状況によってはヘッジを実施する可能性があります。</p> <p>④資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている上場投資信託証券（ETF）等を主要な投資対象とします。
組入制限	<p>①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	証 組 入 比 率 総
		期 騰 落	中 率		
(設定日)	円		%		%
2022年9月28日	10,000		—		—
1期(2023年9月11日)	10,580		5.8		98.4
					百万円
					8,210
					16,662

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(設定日)	円		%	%
2022年9月28日	10,000		—	—
9月末	9,949		△0.5	90.5
10月末	10,899		9.0	96.7
11月末	10,589		5.9	97.6
12月末	9,770		△2.3	97.2
2023年1月末	10,170		1.7	97.8
2月末	10,333		3.3	97.9
3月末	9,946		△0.5	99.0
4月末	9,814		△1.9	99.0
5月末	9,925		△0.8	98.9
6月末	10,703		7.0	98.7
7月末	10,858		8.6	98.8
8月末	10,799		8.0	98.7
(期 末)				
2023年9月11日	10,580		5.8	98.4

(注) 騰落率は設定日比です。

○運用経過

(2022年9月28日～2023年9月11日)

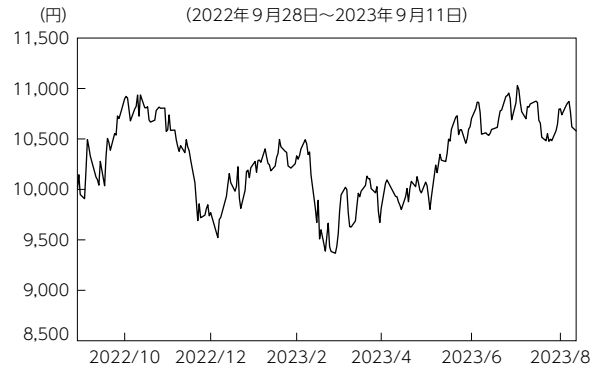
期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、5.8%上昇しました。2022年9月28日のファンド設定以来、「食料」「水」「エネルギー（資源エネルギー、新エネルギー）」関連のETFに投資を行いました。このうち水関連のETFが大きく上昇し、ファンドの基準価額の上昇に比較的大きくプラス寄与しました。「食料」と「エネルギー資源」もプラス寄与しましたが、「新エネルギー」はマイナス寄与となりました。

また、当期は日本と米国の金利差が拡大したことなどから、米ドルが期初と比べて対円で1.5%程度上昇しました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動がファンドの基準価額にプラスの影響をもたらし、パフォーマンスにもプラス寄与しています。

【基準価額の推移】



投資環境

世界の株式市場は、先進国を中心に全体として上昇しましたが、地域や業種によって異なる展開となりました。

米国では当期中に6回の利上げが決定され、金利が上昇する中でインフレ指標やFRB（米連邦準備制度理事会）高官の発言などに反応しやすい相場展開となりましたが、通期で米国株式は上昇しました。債務上限問題や一部地方銀行の経営破綻などから下落する場面もありましたが、6月から7月にかけてインフレ圧力が和らぐ一方で経済指標と企業決算が好調だったことから景気のソフトランディング期待が高まり株価が上昇しました。

欧州株式も主要中央銀行の金融政策をにらみながらの神経質な展開となりましたが、通期で前期末比プラスとなりました。1月から2月にかけては暖冬により、ロシアへの経済制裁の影響によるエネルギー不安が後退したことを受けて株式は上昇しました。

日本株式は、当分のあいだ利上げの可能性が低いことや、東京証券取引所がPBR 1倍割れの企業に株価上昇のための対策を要請したことなどを背景に海外からの資金が流入したことに加え、期の後半には円安による輸出企業の業績改善やインバウンド需要の回復による関連企業の売り上げ拡大への期待などから上昇しました。

新興国株式は国によってかなり異なる結果となりました。台湾やインド株式は上昇しましたが、中国・香港の株式は米中対立や不動産市場の低迷などを受けて国内景気への先行き不透明感が広がり、軟調な推移となりました。

このような市場環境のなか、当ファンドが保有するETFもテーマ毎にまちまちな動きとなりました。水関連株式では、配管設備などを手掛ける企業、水処理技術を持つ企業、水道事業を行う企業などが特に期の後半に大きく上昇しました。食料関連株式は、肥料や除草剤などの企業の株価が下落した一方で農業機器や食品加工関連企業などが堅調に推移するなど業種によって異なる動きとなり、全体としては通期で小幅に上昇しました。資源エネルギー関連株式ではリチウムやレアアース関連が下落しましたが、ウラン関連が上昇したほか、サウジアラビアなどの産油国の減産により原油価格が上昇したことなどから石油、ガス関連企業も上昇しました。新エネルギー関連株式は、太陽光パネルや太陽光発電設備関連の企業が大きく下落したことなどから全体的に軟調でした。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することで、実質的に世界の株式等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、生きるために必要不可欠と思われる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに分散投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指すことです。これに向けて、各テーマに即したETFを選別し、ポートフォリオ全体に対するテーマ毎の価格変動リスクの寄与が概ね均等になるように配分比率を決定する運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、水、食料、エネルギーに関連する企業を中心に構成された世界の上場投資信託証券（ETF）に投資を行うことにより、効率的な運用を行うことを目指します。ETFの選定には独自の評価基準を用い、取引コストや流動性なども考慮しながら組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年9月28日～2023年9月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	8 (8)	0.078 (0.078)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.018 (0.016) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	10	0.096	
期中の平均基準価額は、10,312円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月28日～2023年9月11日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	iShares Agribusiness UCITS ETF	299,269	15,646	65,142	3,115
	First Trust Water ETF	139,010	10,614	31,606	2,753
	First Trust NASDAQ Clean Edge Green Ener	139,801	7,746	35,919	1,792
	First Trust Global Wind Energy ETF	374,371	6,014	39,528	658
	Global X Lithium & Battery Tech ETF	113,858	7,594	26,377	1,631
	GLOBAL X URANIUM ETF	342,254	6,933	83,413	1,904
	INVESCO WATER RESOURCES ETF	217,340	10,562	49,043	2,728
	INVESCO S&P GLOBAL WATER IND	223,471	9,864	42,688	2,149
	Invesco Global Water ETF	311,493	9,561	57,376	2,043
	INVESCO SOLAR ETF	101,226	7,527	17,109	1,212
	ISHARES MSCI AGRICULTURE PRODUCERS ETF	509,093	21,113	226,877	9,862
	ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	356,512	6,894	46,339	840
	ENERGY SELECT SECTOR SPDR	117,087	9,283	39,043	3,387
国	VANECK AGRIBUSINESS ETF	253,015	21,529	121,194	10,989
	VanEck Rare Earth/Strategic Metals ETF	93,041	7,972	24,420	1,924
	小計	3,590,841	158,857	906,074	46,994

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月28日～2023年9月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年9月11日現在)

外国投資信託証券

銘柄	口数	当期末		比率	
		評価額			
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	千米ドル	千円	%	
iShares Agribusiness UCITS ETF	234,127	10,998	1,616,393	9.7	
First Trust Water ETF	107,404	9,232	1,356,892	8.1	
First Trust NASDAQ Clean Edge Green Ener	103,882	4,743	697,115	4.2	
First Trust Global Wind Energy ETF	334,843	5,098	749,270	4.5	
Global X Lithium & Battery Tech ETF	87,481	5,001	735,039	4.4	
GLOBAL X URANIUM ETF	258,841	6,341	932,025	5.6	
INVESCO WATER RESOURCES ETF	168,297	9,199	1,351,993	8.1	
INVESCO S&P GLOBAL WATER IND	180,783	8,811	1,295,006	7.8	
Invesco Global Water ETF	254,117	8,848	1,300,442	7.8	
INVESCO SOLAR ETF	84,117	4,674	686,993	4.1	
ISHARES MSCI AGRICULTURE PRODUCERS ETF	282,216	11,062	1,625,909	9.8	
ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	310,173	4,792	704,305	4.2	
ENERGY SELECT SECTOR SPDR	78,044	7,183	1,055,825	6.3	
VANECK AGRIBUSINESS ETF	131,821	10,735	1,577,796	9.5	
VanEck Rare Earth/Strategic Metals ETF	68,621	4,832	710,302	4.3	
合計	口数 銘柄数	金額 <比率>	2,684,767 15	111,555 -	16,395,313 <98.4%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2023年9月11日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 16,395,313	% 95.6
コール・ローン等、その他	753,621	4.4
投資信託財産総額	17,148,934	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（16,415,379千円）の投資信託財産総額（17,148,934千円）に対する比率は95.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=146.97円、1ユーロ=157.48円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年9月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	17,148,934,269
コール・ローン等	753,620,928
投資信託受益証券(評価額)	16,395,313,341
(B) 負債	485,998,776
未払解約金	485,998,776
(C) 純資産総額(A-B)	16,662,935,493
元本	15,749,520,239
次期繰越損益金	913,415,254
(D) 受益権総口数	15,749,520,239口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,580円

(注) 当ファンドの設定時元本額は8,210,280,835円、期中追加設定元本額は11,038,801,861円、期中一部解約元本額は3,499,562,457円です。

(注) 2023年9月11日現在の元本の内訳は以下の通りです。
 ・お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・ファンド
 15,749,520,239円

(注) 1口当たり純資産額は1.0580円です。

○損益の状況 (2022年9月28日～2023年9月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	189,212,545
受取配当金	186,821,748
受取利息	2,269,244
その他収益金	121,553
(B) 有価証券売買損益	425,703,470
売買益	1,881,407,086
売買損	△1,455,703,616
(C) 保管費用等	△ 3,355,629
(D) 当期損益金(A+B+C)	611,560,386
(E) 追加信託差損益金	479,731,506
(F) 解約差損益金	△ 177,876,638
(G) 計(D+E+F)	913,415,254
次期繰越損益金(G)	913,415,254

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。